岩手県立生涯学習推進センター

研修実施報告 Web版

実 施 日：令和３年７月２日（金）
実施場所：生涯学習推進センター
受講者数：９名

人づくり・地域づくり関係職員等研修講座（中部地区）

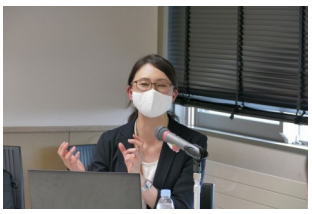
職 員 研 修
有志指導者研修
要 請 研 修

中部教育事務所管内各市町の生涯学習関係職員、公民館・地区センター、地域づくり関係職員を対象に、障がい者の生涯学習推進に向け、障がいや障がい者理解を深めることを目的に実施しました。

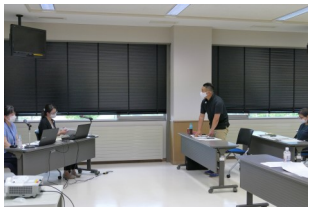
【講義】「誰もが共に学び続けるための障がい理解」～知的障がい者の支援事例から学ぶ～

講義では、花巻市障がい福祉課の佐藤氏、地域生活支援センターしおんの横澤氏から、障がい・障がい者の理解についてお話を頂きました。佐藤氏からは基本的な障がいについてや、障がい福祉課が担っている業務について説明がありました。また、横澤氏からは、地域で生活する障がい者の実際の活動事例や、福祉関係団体とのつながりづくりについて話されました。受講者からは、「障がい者と関わることは特別なことではなく、普通に接してもいいのだということを講義から学ぶことができた」との感想が寄せられました。障がいや障がい者について少しでも意識が高まり、日頃の業務の中で障がい者のことについても考えるきっかけになればと思いました。

↑花巻市障がい福祉課　佐藤氏



↑地域生活支援センターしおん　横澤氏



↑講師の講義に質問する受講者

【演習】「ボッチャ体験」

演習では、県スポーツ振興課スポーツ振興専門員の菊池氏を講師に、受講者でボッチャを体験しました。菊池氏からの基本的なボッチャのルール説明ののち、チームに分かれ実際にゲームに取り組みました。受講者同士、盛り上がってボッチャを体験していました。また、審判の仕方も併せて説明していただきました。菊池氏からは「今回は正式なコートで実施したが、コートサイズを小さくしても大丈夫。楽しむことが大切です」というお話もいただきました。演習の最後には、椅子に座ったままでボッチャボールを投げるなど、車椅子の方の投げにくさを疑似体験することもできました。ぜひ、各市町村で、障がいのあるなしに関わらず共に活動する場を作るきっかけにしてほしいと思います。

↑ ボッチャのルールを説明する菊池氏

↑ボッチャを体験する受講者。審判も体験しました。

《受講者の声》

・障がい者の生涯学習を進めていくうえで、今回の講義と演習は大変有意義だった。

・障がいについて取り上げ、体験を組み込んだ研修は大変価値ある一歩だと感じた。

・ぜひ地域でボッチャを実施したいと思った。

・ぜひ障がいのある当事者の方と交流を図りたい。

《受講者の評価》

A（有意義）	88.9%
B（どちらかといえば有意義）	11.1%
C（どちらかといえば有意義でない）	0%
D（有意義でない）	0%

《担当者（阿部から）》

共に学ぶ、共に生きるということは簡単ではなく、お互いの理解や思いを寄せることが重要です。そのためには、多様な人の存在を意識していくことからはじめましょう。共に活動すると、想像していたよりも、たくさんの気づきや発見があります。